

2012年11月8日

三井住友海上プライマリー生命
下記の金融機関において、「しあわせ、ずっと」を販売開始します。

しあわせ、ずっと

円建終身移行特約付通貨選択利率更改型終身保険

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社(本社:東京都中央区、取締役社長:樋口 幸男)は、円建終身移行特約付通貨選択利率更改型終身保険『しあわせ、ずっと』を下表の金融機関において販売開始いたします。

『しあわせ、ずっと』は、日本円よりも比較的高い利率で運用できる「外貨建て運用」の終身保険に、円建て運用資産を自動確保する「円建て資産自動確保」機能を組み合わせた、業界初※となる終身保険です。
※2012年2月当社調べ

この組み合わせにより、目標値を設定することで外貨建て運用の最大の不安要素である「為替の変動」のタイミングを捉えて、期待した円建て資産を確保し、終身保険の目的である「資産を確実に遺す」ことが可能となります。

また、円建終身へ移行し、かつご契約日から3年経過以後であれば、「年金移行特約」を付加することでご契約の全てを将来の死亡保障に変えて、年金でお受け取りいただくことも可能です。
お客さまの資産を運用(ふやす)し、相続(のこす)だけではなく、年金としてご自身のために使うニーズにもお応えできる商品となっています。

なお、この商品は、告知なしで入れる終身保険です。健康状態に不安のあるお客さまや年齢的に終身保険は難しいと考えているお客さまにも安心してお申し込みいただけます。更に、お申込み金額を100万円からとすることで、広い世代のお客さまにもお申し込みいただけるようにしました。

『しあわせ、ずっと』は、低金利の時代に、大切な資産を次世代に確実に引き継ぐ“贈りもの”、また自分自身への“贈りもの”としても魅力ある商品となっております。

取扱金融機関一覧 (発売日別)

(五十音順)

発売日	取扱金融機関
2012年11月9日	名古屋銀行
2012年11月12日	八千代銀行

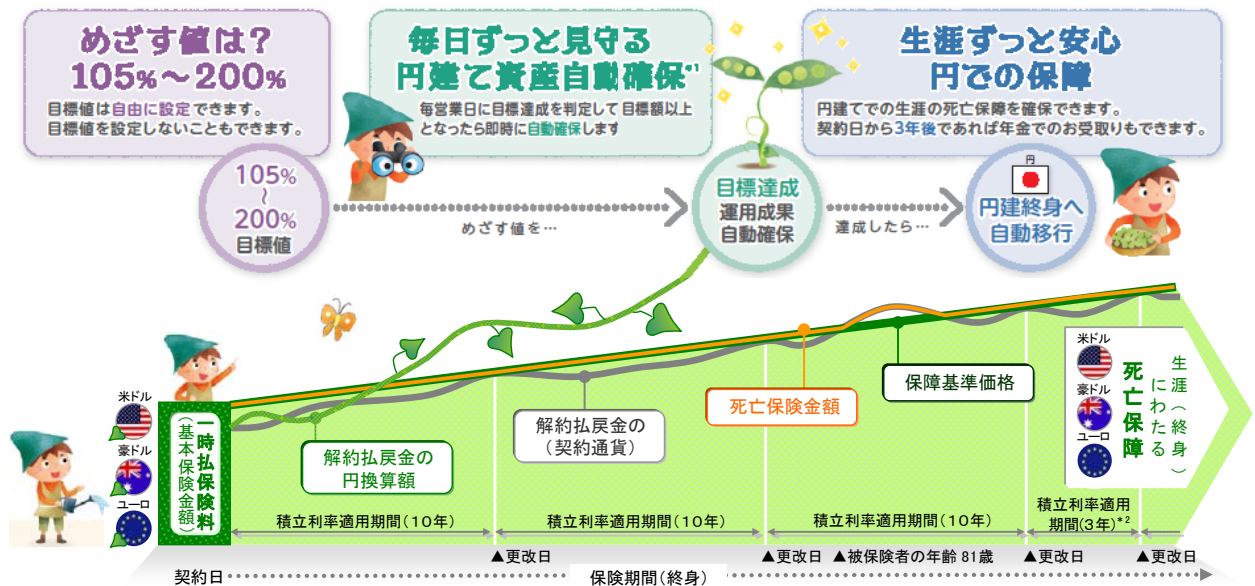
※取扱金融機関により、上記の発売日は変更する場合があります。

商品の特長とイメージ図

- 『しあわせ、ずっと』は、「外貨建て運用」の終身保険に、「円建て資産自動確保^{*1}」機能を組み合わせた商品です。

*1 円建て資産自動確保とは、外貨建てで運用している資産を円建てで自動確保することをいいます。

【外貨建終身保険のイメージ図】



*2 契約日または更改日における被保険者の年齢が81歳以上の場合、以後3年ごとの年単位の契約応当日に更改します。

※上図はイメージ図であり、将来の死亡保険金額、解約払戻金額等を保証するものではありません。

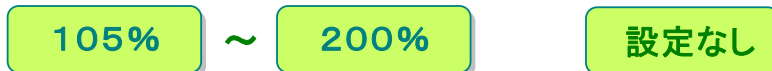
※上図は保険期間を通じて同じ積立利率で運用したと仮定したものです。実際の積立利率は、各更改日に改めます。

目標値の設定について

円換算した一時払保険料(基本保険金額)を100%とした場合の目標値(%)を、下記より設定することができます。(目標値を設定しないこともできます。)

円建終身への移行前であれば、ご契約者が目標値を変更・設定・解除することができます。

📌 目標値(%)



(1%刻みで自由に設定できます。)

円建終身への移行について

① 目標達成すると円建終身に自動移行します。

契約日以後に、解約払戻金の円換算額が、ご契約者が設定した目標額以上となった場合、自動的に円建終身へ移行します。円建終身への移行後は円建終身適用利率で運用します。この円建終身適用利率は移行日から1年間適用し、その後は毎年の更改日(*3)に利率を再設定します。

*3 円建終身への移行後の更改日は、移行日から1年ごとの移行日の年単位の応当日となります。

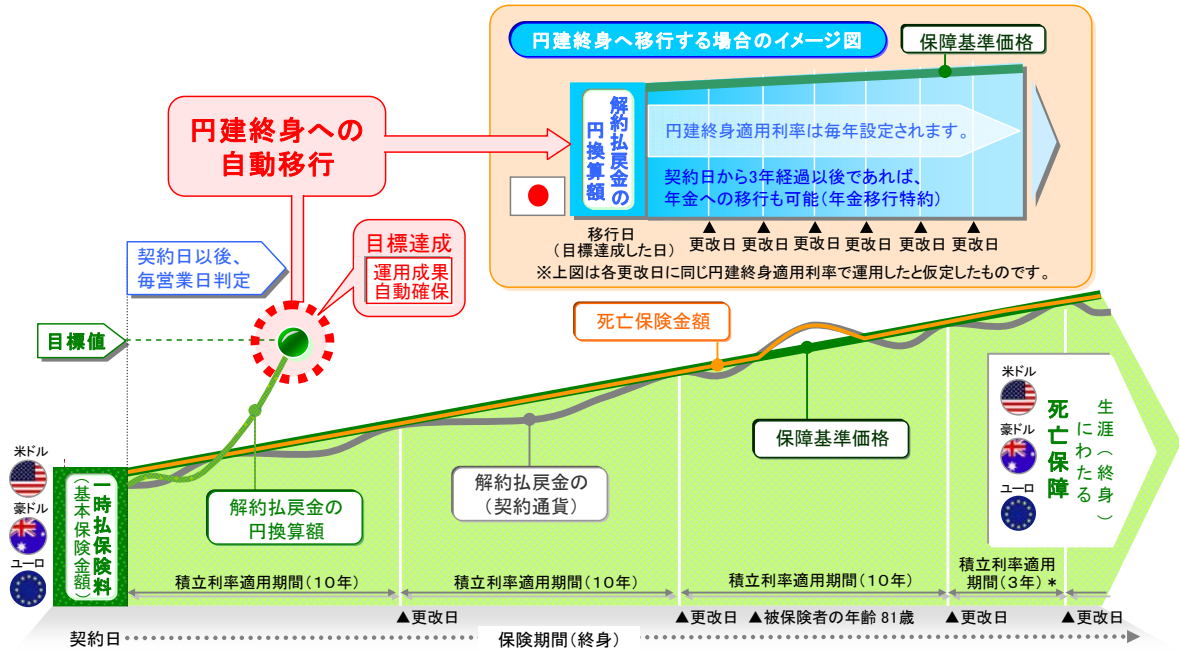
$$\text{目標額}^{*4} = \text{基本保険金額 (外貨建一時払保険料)} \times \text{契約日の円入金特約レート(TTS)} \times \text{目標値(\%)}$$

*4 円入金特約を付加した場合の目標額は、円で受領した一時払保険料に目標値を乗じた金額となります。また、外貨入金特約を付加した場合の目標額は、払込通貨で受領した一時払保険料に契約日の円入金特約レートと目標値を乗じた金額となります。

② 目標達成前でも自由に円建終身に移行することができます。

契約日以後であればいつでも、契約者のお申し出により解約払戻金の円換算額を原資に円建終身へ移行することができます。

■ 外貨建終身保険のイメージ図と、円建終身へ移行する場合のイメージ図



* 契約日または更改日における被保険者の年齢が81歳以上の場合、以後3年ごとの年単位の契約応当日に更改します。

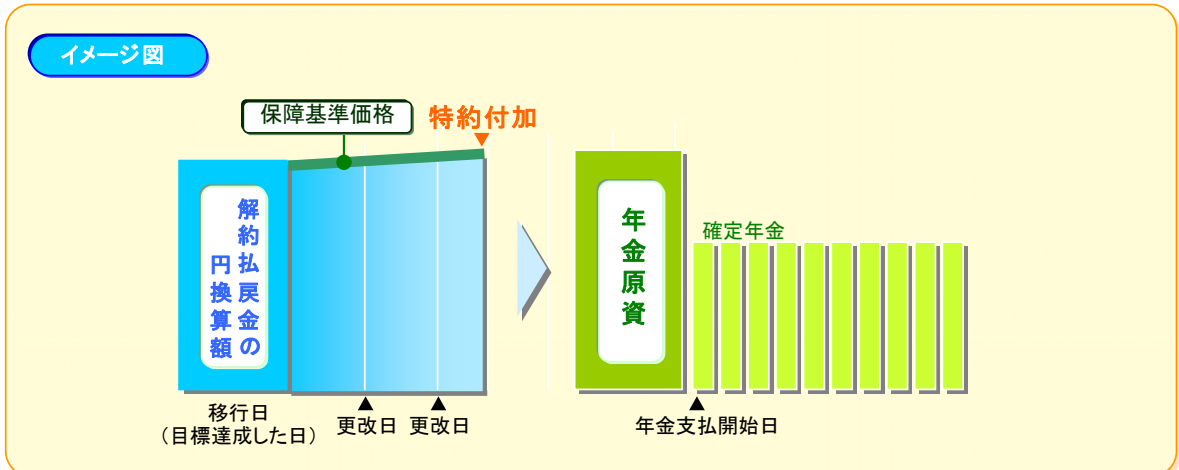
※上図はイメージ図であり、将来の死亡保険金額、解約払戻金額等を保証するものではありません。
※上図は保険期間を通じて同じ積立利率で運用したと仮定したものです。実際の積立利率は、各更改日に改めます。



- 円建終身への移行後に、再度、外貨建終身保険に移行することはできません。
- 契約日から10年未満に円建終身へ移行する場合には、所定の解約控除がかかります。
- 円建終身へ移行する場合には、為替相場の変動により、移行日以後の保障基準価格の原資となる解約払戻金の円換算額が、一時払保険料をご契約時の為替レートで円貨に換算した額より下回る可能性があり、損失が生じるおそれがあります。

■ 年金移行特約について

- この特約は、円建終身への移行後かつ契約日から3年経過以後、ご契約の全部を将来の死亡保障にかえて、年金支払に移行することができる特約です。
- 年金種類は確定年金となり、第1回の年金支払日(年金支払開始日)はこの特約を付加した日となります。



※上図はイメージ図であり、将来の年金額等を保証するものではありません。
※上図は各更改日に同じ円建終身適用利率で運用したと仮定したものです。

■ 円建終身移行特約付通貨選択利率更改型終身保険 商品概要

商品名	しあわせ、ずっと		
契約通貨	米ドル	豪ドル	ユーロ
最低保険料	1万米ドル(1米ドル単位)	1万豪ドル(1豪ドル単位)	1万ユーロ(1ユーロ単位)
最高保険料(75歳以下)	500万米ドル、もしくは契約日時点の円換算額5億円のいずれか低い金額	750万豪ドル、もしくは契約日時点の円換算額5億円のいずれか低い金額	500万ユーロ、もしくは契約日時点の円換算額5億円のいずれか低い金額
最高保険料(76歳以上)	100万米ドル、もしくは契約日時点の円換算額1億円のいずれか低い金額	150万豪ドル、もしくは契約日時点の円換算額1億円のいずれか低い金額	100万ユーロ、もしくは契約日時点の円換算額1億円のいずれか低い金額
契約年齢(契約日における被保険者の満年齢)	0~87歳 ※お取扱いできる契約年齢は金融機関によって異なる場合があります		
保険期間	終身		
保険料の払込方法	一時払のみ		
死亡保険金	被保険者が死亡した時点の保障基準価格、または解約払戻金額のいずれか大きい額		
クーリング・オフ	<u>クーリング・オフ制度(お申し込みの撤回・契約の解除)の対象です。</u>		
「円建て資産自動確保」機能			
概要	契約日以後に、解約払戻金の円換算額が、ご契約者が設定した目標額以上となった場合、自動的に円建終身へ移行します。(目標達成前でも、契約者からのお申し出により円建終身に移行できます。)		
目標額	基本保険金額(外貨建一時払保険料)×契約日の円入金特約レート(TTS)×目標値(%)で計算します。(円未満四捨五入)		
目標値(%)の範囲	105%~200%までの間で、1%刻みで自由に設定できます。		
円貨目標達成の判定	契約日以後、毎営業日判定します。		
通知方法	円建終身への移行後に契約者へ郵送にて通知いたします。		
目標値の変更・設定・解除	契約者が電話または請求書類で目標値の変更、新たに目標値を設定、または目標設定の解除ができます。		
付加できる主な特約			
円入金特約	一時払保険料を円貨で払込むことができます。		
外貨入金特約	一時払保険料を契約通貨と異なる外貨(米ドル/豪ドル)で払込むことができます。		
	契約通貨	払込通貨	
	米ドル	豪ドル	
豪ドル	米ドル		
※金融機関によっては外貨入金特約をお取扱いしておりません			
円支払特約	死亡保険金、解約払戻金等を円貨で受取ることができます。		
年金移行特約	円建終身への移行後かつ契約日から3年経過以後、将来の死亡保障にかえて、年金支払に移行することができます。 年金受取人：契約者または被保険者 年金種類：確定年金(年金支払期間:5、10、15、20、25、30年)		
遺族年金支払特約	被保険者が死亡された場合に、死亡保険金の全部または一部を、一括でのお受け取りにかえて年金形式で受け取ることができます。 年金受取人：死亡保険金受取人 年金種類：確定年金(年金支払期間:5、10、15、20、25、30年)		

【この保険のご検討にあたってご確認ください事項】

■為替リスクについて

この保険は、死亡保険金、解約払戻金等(以下、保険金等)受取時の通貨が一時払保険料の払込通貨と異なる場合、為替相場の変動により、保険金等を一時払保険料の払込通貨で換算した場合の金額が、ご契約時にお申込みいただいた金額を下回る可能性があり、損失が生じるおそれがあります。

■市場リスクについて

この保険を解約または円建終身へ移行する場合、運用資産(債券など)の価値の変化を解約払戻金に反映させるため、市場金利に連動した市場調整を行うことにより解約払戻金が一時払保険料を下回る可能性があり、損失が生じるおそれがあります。具体的には、契約時点よりも市場金利が高くなると市場価格は下落し、逆に、契約時点よりも市場金利が低くなると市場価格は上昇します。したがって、解約払戻金は市場金利の状況により増減することとなります。

■預金などとの違いについて

この保険は、三井住友海上プライマリー生命を引受保険会社とする生命保険商品です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象になりません。

■積立利率の設定について

ご契約時に適用される積立利率は、契約日・契約通貨・積立利率適用期間によって異なります。ご契約に際しては、必ず三井住友海上プライマリー生命が定める最新の積立利率をご確認ください。

■お客さまにご負担いただく費用について (この商品に係る費用の合計は、以下の費用の合計となります。)

●ご契約時にご負担いただく費用

ご契約時にご負担いただく費用はありません。

●保険期間中にご負担いただく費用

保険期間中に適用される積立利率適用期間ごとの積立利率は、契約通貨に応じて、指標金利の上下 1.0% の範囲で三井住友海上プライマリー生命が定める利率から、保険関係費をあらかじめ差引いた利率です。したがって、保険期間中にご負担いただく費用はありません。なお、この積立利率は、契約日および更改日における契約通貨ならびに積立利率適用期間によって異なります。

●外貨で契約を締結することで生じる費用

- 一時払保険料の振込み、保険金等の受取りを外貨で行う場合、送金手数料、口座引出手数料等の費用が別途必要となる場合があります。また、当該費用は取扱金融機関によって異なります。
- 一時払保険料を契約通貨と異なる通貨で入金する場合のレートと、保険金等を円貨で受取る場合、または円建終身へ移行する場合のレートは、仲値(TTM)に対し、次のとおりとなります。
 - 円入金特約により、円貨で一時払保険料を入金する場合の円入金特約レート(TTS)は、仲値(TTM)に対して 50 銭を加えたレートとなります。
 - 外貨入金特約により、契約通貨と異なる外貨で一時払保険料を入金する場合の外貨入金特約レートは、(契約通貨の仲値(TTM)+25 銭) ÷ (払込通貨の仲値(TTM)-25 銭) で計算されたレートとなります。
 - 円支払特約により、円貨で保険金等を受取る場合、または円建終身へ移行する場合の円支払特約レート(TTB)は、仲値(TTM)に対して 50 銭を差引いたレートとなります。

●遺族年金支払特約および年金移行特約による年金支払期間中にご負担いただく費用

年金管理費として、年金額に対して1%を年金支払日に責任準備金から控除します。

●解約時にご負担いただく費用

契約日から解約日までの経過年数に応じた所定の解約控除率(10%~1%)を基本保険金額に乘じ、その金額(解約控除額)を市場金利の変動状況を反映させて計算した市場調整価格から控除します。なお、円建終身への移行日以後は、解約控除の適用はありません。

※円建終身移行特約付通貨選択利率更改型終身保険『しあわせ、ずっと』の主な特徴を記載したものです。

詳しくは「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

※上記商品に関する詳細な情報については、当社ホームページ(<http://www.ms-primary.com>)をご覧ください。